



from NEW YORK from NEW YORK from NEW YORK
マッシー川口の

from New York

アメリカ俳優組合のメンバーになれたのだ!

ワッツアップ? ゲンキ? 初夏のマンハッタンは急に観光客が増えるよ。特にブロードウェイの劇場街のど真ん中、タイムズスクエア周辺はツーリストファッションのオンパレード。カメラと地図を持って上を見上げてれば一目瞭然だよ。ここはスリも多いから、はらはらすよ。だけど、人なつこいニューヨーカーは知らない人でも目が合うとニコッとスマイル。これは日本人にはあまりない習慣だけど、私も目と目が合うと誰でもどこでもにっこり歯を見せちゃうワ。自然だからお互い気分がいいのよね。



ところで、なんでタイムズスクエアに用事があったかという、実はついにくめでたく私もアメリカ俳優組合の、SAG(サグ) Screen Actors Guild」のメンバーになれたのだ。これはちょっと嬉しい。仕事から持っていたほうが、いい資格だからね。そのSAGのオフィスはブロードウェイの44丁目の大きなビルの44階。このSAGのメンバーになるためには、SAG管轄のアメリカの映画に3回エキストラに出演するか、また一言でもセリフ付きの役で出演するか、などと細かい規定があって、サグ・メンバーになるのもなかなか厳しいのだ。今回はラッキーなことに、SAG管轄のテレビCMの仕事をした時に広告代理店の担当のサンドラ嬢に相談してみたら、「マサヨもこれでSAGのメンバーになれるわよ」という朗報。さっそく手続きしてきたというわけ。ここも勿論WEBサイトあり(www.sag.com)。各部署の電話番号案内もここでチェックできるし、常に俳優に必要な情報がアップデートされていて、便利なサイトだよ。いまは、女優にとってアカデミー賞と等しい意味を持つと言われる、SAG版アカデミー賞が発表されてるよ。

でもSAGに入れたのはいいけど、入会料はなんと1,194.5ドル(1ドル120円として、なんと14万3,340円!)。ヒー、高いよね。まあ、その代わり保険も充実して、SAG関連のお仕事のチャンスもぐっと増えるから払うしかないのだ。お小遣いがなくなったので、新パソコンを購入するのが先送りになってしまったヨ。クー。

それにしてもアメリカの俳優、女優は自分でやることが多い。俳優としてスタートする場合、映画派でも舞台派でも、まず「ヘッドショット」と言われる8×10インチ(横20センチ×縦25センチ)のプロモート用の顔写真が絶対必要。それもカメラマンだって自分で探し出さなければならないのだ。それで値段の交渉をしてメイクアップアーティストを見つけてやっと撮影。だいたい1日2~3時間で500



カワグチ マサヨ

ニューヨーク在住のフリージャーナリスト。テレビやラジオでニューヨークからのレポートを送っている。ほかにコナミの人気ゲーム「ときめきメモリアル」の片桐彩子役(声優)としても活躍。
<http://members.tripod.com/~masshy/>



ドル以上かかるんだけど、さらにその写真のコピーが1000枚ぐらい必要。さらに散財。というのも、SAG オフィスからニューヨークの各有名エージェントを103社とキャスティングディレクター30人のリストをどんと渡されるから、ここにヘッドショットと俳優キャリアや学歴などを書いた経歴書、ビジネスレターなどをまとめて郵送しなくちゃいけないの。この際訪問は禁物。うまくいけば、先方から連絡があり、会ってくれてエージェント契約までこぎつけられたり、キャスティングから映画などのオーディションのチャンスが与えられたりするわけだ。こちらはコネはほとんど意味がないようで、オーディションがすべて。それはブロードウェイの舞台も同じこと。俳優新聞の「BACKSTAGE」(www.backstage.com)でオーディション情報をキャッチすることもできるけど、BACKSTAGEのすごいところは、オーディション情報がひとめでわかることと、Eキャスティングも行っていて、登録しておく自分にあったキャスティングの情報がゲットできるよ。

エニウェイ、日本ではうまくいけば最初から俳優事務所がある程度仕事のお膳立てをしてくれたりするけど、やはりアメリカはスタート時点から誰にも頼らず自分を信じて進むしかないようにできてるわけだ。ヘビーだなと実感するわー。だから、スクリーンに登場する俳優たちは

● ハンパじゃないわけね。ふうむ。



さて、今は夜中の1時。これからナイトクラブに行くぞ。というのも、先月NTVの「ジュラシックTV」という音楽番組の取材で、ディレクター、リポーター、コーディネーターという3役を全部1人でやるという貴重な機会があったの。その時は4か所の人気クラブ、Life、Nowbar、Twilo、Sound Factoryの取材をして、DJのインタビューも撮影したけど、それからすっかりハマッテルの。TwiloもSound Factoryも、土曜日は夜中の2時くらいから満員になって次の日のお昼の3時頃まで盛り上がる「アフターアワーズ」と呼ばれるクラブよ。朝4時にバーは終って、アルコール販売はナシ。水とコーラで踊りまくるのよん。2500人もお昼まで踊ってるんだから異様な光景だよ。TwiloのDJ「ジュニア・バスケス」も健在よ。詳しくは(www.twiloclub.com)をどうぞ。

● そういえば先日、日本のNews番組のために「恋に落ちたシェークスピア」のグウィネス・パルトロウ(第71回アカデミー賞主演女優賞!!)にインタビューしたよ。So cute!



● アメリカのエンターテイメントはなんでも奥が深いのだ。じゃそそろろ行ってキマース。シーキューネクストマンス。マッシー:)

Illust: Kido Satoko





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp